

大切なものは目に見えない

「大切なものは目に見えない」これは星の王子さまでも有名な、私にとってとても大事で忘れられなくて大好きな言葉です。私は耳が聞こえにくく、みんなの声がほとんどわかりません。外見では判断できない見えない障がい。そんな人たちを理解しよう応援しようという取り組みの一つに、透明のアウェアネスリボンがありました。そのキーホルダーに書かれた語句が、私の大好きなこの言葉でした。十数年前にもらい、今でも大切に持っているぐらい、リボンにも言葉にも思い入れがあるものです。私が好きな理由はもう一つあります。視野を広げ、新しい見方を教えてくれる考え方だからです。

税金。この言葉に対して、私はよい印象を持っていませんでした。何かを買えば消費税がついてきて、働けばその分の所得税も払い、住むことだって税が関わってきます。払わなければいけない義務で、不安定な政治情勢もあり、これから先どんどん増えて負担が重くなるものと思うと、先が思いやられます。学校の授業で、払った税はみんなのために使われていると何度も教わったのに、どうしても目に見えて減っていくお金の方に目を向けがちでした。人間には利益を得るよりも、損得を避けることを強く優先する心理があるそうです。もしかしたら、不利益で目に見えることばかりにとらわれすぎて、大切なものが見えてないのかも。

こう思って調べていくうちに、私は税金にとっても助けられていることがわかりました。私は言葉も覚えていないまだ小さな頃に、耳が聞こえにくくなったそうです。このままだと後の発達に遅れが生じる可能性がありました。ゆえに補聴器という補装具を必要とします。その上、私の場合、補聴器だけでは聞こえが十分ではなかったため、人工内耳も使っています。これらの補装具は非常に高価なものです。補聴器は値段に差がありますが、片耳で数十万円、人工内耳にいたってはおよそ四百万円もの手術をしなければ付けられません。しかし、私は補聴器、人工内耳を付けて生活をしています。多少聞き間違えることはあっても、ほとんど自分の力で聞き、たくさんの人と話せるみんなと変わらないような暮らしです。

これらを可能にしてくれたものが、みんなが払っている税金です。税金は、確かに目に見える公共設備や道路を造る費用にもなるけれど、同時にちょっとスタートが後ろの人たちを手助けしてくれる、人権を守る役割も担ってくれてたんだと気づきました。とても心が温かくなります。やっぱりこの言葉好きだなあと思いました。税金は払ってくれるみんなのおかげで成立しています。みんなは見えないたくさんの誰かを支えています。税金に不安なことが多いのは拭えないけど、税金が橋渡しとなって施すことは誰かのためにも自分のためにもなっているんだという良い面を忘れずにこれからの社会を考えていきたいです。私の中の星の王子さまがささやきます。「ほらね。大切なことは目に見えないんだ。」